

# 1. 人材養成目的, カリキュラム・ポリシー, ディプロマ・ポリシー

## □人材養成の目的その他の教育研究上の目的

海洋生命科学部では、海洋生命科学一般の専門技術とその基盤となる学門領域を理解し、国際的な視野を持ち、これらを基に自らの意見を伝える能力、判断力、実践力を持つ人材の育成を目的とします。

そのための教育研究上の目的は、(1) 多面的思考能力 (2) 自然科学の基礎知識・理論 (3) 専門分野の知識・技術 (4) 問題解決能力 (5) 実務遂行能力 (6) コミュニケーション能力 (7) 技術者倫理 (8) 継続的学修能力の獲得、達成とします。

## □教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

海洋生命科学部では、学位授与方針を達成できるよう、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施しています。(1) 全ての科目を8項目の研究教育上の目的(学修・教育目標)の何れかに対応させるとともに、4年間のカリキュラムの中で基礎科目から発展的科目へと段階的に配置し、卒業論文を集大成科目として位置付けることによって、学生が学修・教育目標の達成度を自己評価しつつ、学修を進めることができるカリキュラムの編成を基本とします。(2) 学修・教育目標の達成をより推進する方策として、実践的学修の強化および少人数教育の展開を図ります。学修成果の評価は、科目ごとにシラバスに明記した方法で行います。

## □学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

海洋生命科学部では、海洋生命科学一般の専門技術とその基盤となる学門領域を理解し、国際的な視野を持ち、これらを基に自らの意見を伝える能力、判断力、実践力を持つ人材の育成を目的とします。

こうした人材を育成するために、以下の資質・能力を修得した者に学位を授与します。

- (1) 自然、文化、社会、人間の多様性を認識し、多様な価値観を理解する能力（多面的思考能力）
- (2) 数学、自然科学、情報技術に関する基礎知識と、それを海洋生命科学分野の問題解決に応用する能力（自然科学の基礎知識・理論）
- (3) 水圏生物の生理・生態、高度有効利用、環境との関わりなど海洋生命科学に関する一貫した基礎知識と、水圏生物の利用に関わる多様な分野に対応する能力（専門分野の知識・技術）
- (4) 情報を収集・分析して水圏生物資源の利用に関する問題を発見し、その解決策をデザインする能力（問題解決能力）
- (5) 与えられた条件の中で実験を遂行し、結果を解析、考察する能力（実務遂行能力）
- (6) 自分の考えを的確かつ論理的に表現する能力、および英語によるコミュニケーションを図るための基礎能力（コミュニケーション能力）
- (7) 専門技術者として責任ある社会活動を可能にする倫理観（技術者倫理）
- (8) 継続的に学修しながら、絶えず変化する科学技術に迅速に対応する能力（継続的学修能力）